



令和 8 年 4 月 1 日

令和 8 年度 都市企画部の運営方針

都市企画部長 細 川 啓 明

「令和 8 年度都市企画部の運営方針」を下記のとおり定める。

各課においては、「令和 8 年度市政運営の基本方針」（令和 8 年 3 月 19 日市長表明）及び本運営方針を所属職員に周知するとともに、各課の組織目標を設定し、目標達成に向け、各施策を着実に推進すること。

記

1 施政方針の具現化

- ① 各課においては組織運営に「経営」の視点を取り入れ、BPRの推進、行政手続のオンライン化、生成AIの利活用など、変化を恐れることなく能動的に業務改善の取組を進め、行政サービスの最適化を図るとともに、これまで以上に効果的・効率的かつ持続可能な組織運営を行うこと。
- ② 全ての経常的経費について、必要性、費用対効果、事業形態の在り方、人員配置などを検証し、コストの削減を図りながらも、同等水準以上

の事業効果を生み出すべく、根本から改善を進めること。また、時代やニーズの変化等により当初の目的に沿わなくなった事業については、果敢に統合、縮小、廃止に向けたあらゆる可能性を検討し、限りある行政資源の有効活用を図ること。

- ③ 計画等の策定や改定には多大な労力と経費を要しており、特に関連する複数の分野における計画については、方針等が重複している一方、計画期間が異なるなどの理由から、時代の変化に柔軟に対応しより実効性を持たせた計画とすることについて制約を受けている可能性がある。新規及び既存の計画等について、意義、根拠法令等の位置づけ、計画期間、目標等を整理し、策定、改定のタイミングで複数の計画を統合するなどスリム化と効率化を図るとともに、今後の課題解決により有効な計画等とするよう検討すること。
- ④ 切迫性が高まっている首都直下地震や激甚化する風水害に備え、応急危険度判定体制などの応急体制の強化と、建築物等の耐震化やブロック塀の安全対策など、令和7年度に改定した「耐震改修促進計画」に基づく取組を一層推進し、災害に強い都市づくりを進めること。
- ⑤ アーバンデザインセンターの設立を契機として、地域に関わる公・民・学の多様な主体の連携により、「選ばれ・持続するまち」を目指し、未来創造型のまちづくりを進めること。

2 国分寺市ビジョンの実現に向けて

- ① 「第2次国分寺市総合ビジョン」の未来のまちの姿として掲げる「歴史をつなぎ 未来をひらく 個性がひかり輝くまち」の実現に向け、「国分寺市ビジョン前期実行計画」に掲げる目指す姿、事業目標等を改めて認識し、都市企画部一丸となって各施策を着実に推進すること。

- ② 将来にわたる持続可能な市政運営の実現と質の高い行政サービスを提供していくため、生産年齢人口の減少による市税収入の減少していく一方、超高齢社会による社会保障費等が増大するなど市政を取り巻く環境の大きな転換点にあることや、本市の財政状況について職員一人一人が認識し理解を深めるとともに行財政改革の必要性を認識すること。あわせて、行政資源の「選択と集中」を徹底し、これまで以上に意思決定までのスピードを加速させ、的確で迅速な行政サービスを提供していくこと。

3 適正な事務執行の確保に向けた方針

- ① 市民への説明責任を十分に果たし、市政運営の透明性を確保するため、市政情報の正確かつ迅速な公表に努めること。また、専門用語は極力避け、市民にとって分かりやすい視点での資料作成、説明等を行うなど、常に市民目線に立ち、市民に寄り添う現場主義を徹底し、迅速かつ正確に事務事業を執行すること。
- ② 根拠法令等を確認・理解し、遵守することはもとより、当該業務の本質が何かをしっかりと考えポイントを把握した上で、適正な手続を経て事務を執行すること。不適切な事務執行は、市民の本市に対する信用失墜につながることから、重層的なチェック体制を構築し、その仕組みを確実に機能させること。ミスは常にあるものと考え、正しさの確認ではなく間違いを発見するスタンスでチェックを行うこと。また、複合的な課題の解決に当たっては、庁内横断的な情報共有と連携を図り、迅速かつ柔軟に対応すること。
- ③ 個人情報の取扱いには細心の注意を払い、漏えい等の防止に向けた対策を徹底すること。

- ④ 新庁舎における新たな働き方をさらに追求するとともに、特定の職員に業務が集中することの無いよう、業務の効率化と平準化により、超過勤務を可能な限り削減すること。また、誰もが働きやすく最良のパフォーマンスを発揮できる職場づくりに取り組み、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働き方改革を推進すること。

4 職員の人材育成に向けた方針

- ① 「国分寺市人材育成基本方針（第3期）」及び「国分寺市人材育成実施計画」を踏まえ、職員の育成・指導を行うこと。また、「ハラスメントの防止等に関する指針」の周知徹底を図り、すべての職員が個人として尊重され、お互いの良好な信頼関係のもとに仕事ができるような職場環境づくりをすること。
- ② 都市計画、建築など職務に関する専門知識のほか、行政のデジタル化の推進に向け、デジタル技術を駆使することができるよう、知識及び能力の向上に取り組むこと。「本気の失敗には価値がある。」という価値観の下、職員の挑戦意欲を高める取組や能力の向上に資する自己啓発の取組については、組織を挙げて全力で支援すること。
- ③ あらゆる変化を所与のものとし、健全な批判精神と探求心を持ち続け、自らと市政の目指すべき姿をイメージし、研鑽さんに励むこと。
- ④ 職員による信用を失墜する行為は、公務に対する市民の信頼を大きく損ねるものであり、公私にかかわらず、常に国分寺市職員としての自覚と責任を持って行動すること。
- ⑤ 「国分寺市民」の一人として、積極的に地域づくりに関わる場に参加し、市民と共にまちづくりを進める職員の育成を行うこと。

5 令和8年度重要課題について

- ① 「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、公共施設への再生可能エネルギー導入や照明のLED化を推進するとともに、職員一人一人が温暖化防止を自分事として捉え、常に脱炭素の意識をもって行動すること。
- ② 具体的な重要課題は、別紙「組織目標展開整理表」のとおり。